

【法蔵館文庫】

忘れられた 仏教天文学

一九世紀の日本における 仏教世界像

おかだ まさひこ

岡田正彦 著

▼文庫判・並製カバ！352頁・定価1,430円



江戸後期から明治にかけて、仏教僧普門円通により体系化された仏教天文学「梵曆」。西洋天文学の手法を用いて仏教の円盤状の世界像を実証しようとした円通と門弟たちの思想活動に迫る。

2024年6月刊行

【目次】

序章 普門円通と「仏教天文学」

忘れられた「仏教天文学」／円通と梵曆——「仏教天文学」と「近代仏教」／梵曆研究の可能性と方法

第一章 震撼する世界

一九世紀の日本における世界記述をめぐる言説

はじめに／地動説の導入——司馬江漢「和蘭天説」／神秘なき世界——山片蟠桃「夢ノ代」／世界の中心としての日本——佐藤信淵「天柱記」／幻想の実体化——普門円通「仏国曆象編」

第二章 「起源／本質」の探究と普遍主義のディスクール

普門円通「仏国曆象編」を読む

普門円通と『仏国曆象編』／曆原(第一)——曆法の起源／天体(第二)——仏教の宇宙論／地形(第三)——須弥界の地形／曆法(第四)——仏教天文学／眼智(第五)——慮知と実智／『仏国曆象編』と近代仏教のディスクール

第三章 創られた伝統としての「須弥界」

近代的世界記述と「仏教」

「須弥界」の成立と「近代」／近代的世界記述と仏教の世界像——文雄と円通／普門円通の梵曆研究と「須弥山儀」／須弥山儀の構成——「須弥山儀」と「縮象儀」／創られた伝統としての「須弥界」——近代的世界記述と「仏教」

第四章 忘れられた「仏教天文学」——梵曆運動と「近代」

はじめに／梵曆社と梵曆運動／同四時派と異四時派——梵曆運動の二面性／新理論の展開——仏教天文学を目指して／梵曆運動の解体と「近代」

第五章 須弥山の行方——近代仏教の言説空間

近代仏教と須弥山説／佐田介石の視実等象論——視象と実象／井上円了の妖怪学——妖怪と真怪／木村泰賢と原始仏教主義——テキストのなかの世界／清沢満之と精神主義——客観的知識と主観的真理／須弥山の行方——近代仏教の言説空間

終章 近代日本思想史と梵曆運動

近代の自然観と宗教言説

梵曆運動と「近代」——近代日本の宗教言説と須弥山説／言説史的アプローチの可能性と近代日本思想史

あとがき

現代版梵曆蒐書目録

引用・参考文献一覧

文庫版あとがき

◆著者略歴

岡田正彦(おかだ まさひこ)
天理大学文学部宗教学科卒業。大正大学大学院博士課程中退(宗教学)。アリゾナ州立大学大学院修士課程修了(宗教学)。スタンフォード大学大学院博士課程修了(一九九七年Ph.D.)。取得・宗教学。現在、天理大学人文学部教授。翻訳書に、ジェームズ・E・ケテラー著「邪教／殉教の明治——廃仏毀釈と近代仏教」(ベリカン社、二〇〇六)がある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法蔵館 定価 1,430円	
岡田正彦著 【法蔵館文庫】	
忘れられた仏教天文学	
——一九世紀の日本における仏教世界像	
ISBN : 978-4-8318-2668-8 C1115	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

近代仏教